



I. 夏季補習やり切ったど！

お疲れ様でした

夏休みの間、大学短大志望者は「進学補習」、就職・専門学校志望者は「就専補習」を続けてきました。就専補習は、1時間目はSPI非言語分野を数学の先生が担当、2時間目は言語分野や一般常識問題、3時間目は発声練習や面接対策。3時間目の始まりには毎日一人スピーチを行い、度胸付けをしました。進学補習では一日に8時間フル参加の週もありましたね。AO・推薦対策も必要な生徒もいますが、皆さんよく食らいついてきました。(涙←大げさ)



【生徒の感想より】就専補習

- みんなが面接などの準備に取りかかり、私もしなければいけないと思われました。補習が無く、学校に行っていなければ、きっとやらなければいけないと思いつつも、自分のしたいことに時間を使っていたと思います。
- 毎日来ました。自分がどんな崖っぷちにいるかを理解でき、どの教科のどの部分ができているか分かりました。
- わからなかった数学の基礎が、毎日SPIをやることでできるようになった。
- 先生に聞くだけではなく、周りの友達同士で教え合ったりしたので、それも勉強になった。
- 目標があれば頑張ることができ、自分の活力になりました。その結果、体調を崩すことなく、毎日参加できました。



進学補習

- 伸びたという実感ができたというよりも、勉強を日々継続する習慣を身に付けることができたと思います。(2年生)
- 夏休みに入るまで、まだまだ受験生としての意識が足りませんでしたが、このセンター向けの補習をして頂く中で、自分の足りないところがはっきりと見え、具体的な目標や課題を見つけるいい機会になりました。
- まだ間に合うとおっしゃって下さった先生方のためにも、これからはいっそう勉学にいそしみ、全国あまたの受験生の端くれとして、恥ずかしくないようにしたい。



ただし、EARがOUCHな話ですが、どれだけ補習に参加しようと、必要な量・質の家庭学習ができていないといけませんね。

II. 面接セミナー

7月28日（金）に就職支援教員の吉田圭一先生を講師として、就職・専門学校進学希望者を対象とした「就・専補習」の一環として「就・専面接セミナー」を実施しました。

講座の中で、志望理由を考える際に、自分自身にどんな能力があるか、興味のある職業は何か、これまで大切にしてきたこと（価値観）などをもう一度ふり返り整理することで、将来の展望が明確になると教えていただきました。

【生徒の感想より】

○オープンキャンパス、応募前見学に参加した時から**受験生は見られており**、すでに受験が始まっていること、挨拶をきちんとして自分の名前を覚えてもらうこと、その「場」を大切にすることの重要性を考えさせられました。



○マナーとは、**相手や場を大切にすること**で、面接のマナーとは、面接に関わるすべての「人」と「時間」を大切にすることだと分かりました。挨拶の声、大きさをしっかり意識していきたい。

○面接官は「**入室10秒で印象を決める**」ということ、その内訳として、目から入る情報（55%）、耳から入る情報（38%）、言葉から入る情報（7%）と分析して数値化されていることを知った。

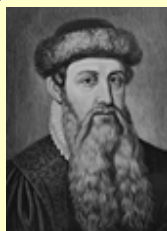


○第一印象、入退室での印象が大事だということを学んだ。面接で質問されることは、**相手に自分の場をアピールする場**でもあるので、回答はきちんと考えておくことが大切である。入退室の練習では、緊張しすぎて頭が真っ白になった。練習を重ねて対応できるようにしたい。

○今の自分はどんな能力を持っているのか、自分ができる仕事は何か、**仕事を知り自分を知る**こと、仕事を行うために自分に足りないものを理解することが大切だ、ということ学びました。



また、8月1日（火）には、大学短大希望者を対象に面接セミナーを実施しています（写真下）。10月には、就職試験を経験した生徒を先達として、3年生に面接練習を行います。



就職指導は、校内就職推薦会議で出願先を決定し、現在、履歴書・出願書類の作成・面接練習等の追い込みに入っています。遅くとも8月末日には清書を完成。

9月5日（火）からの出願書類受付に向け、9月4日（月）には生徒が郵便局に持ち込み郵送。企業から受験日・会場などを記した通知が返送され、9月16日（土）以降、指定された日に採用試験ということになります。

Ⅲ. 3年生の進学出願

(「進路のしおり」より引用)

大学・短大の出願は、インターネット出願に切り替わりつつありますが、全大学共通の方法ではないようです。専門学校等は従来の方式のようなので、志望校の募集要項をよく読み、不明な点は先生に確認のこと。以下は、従来の書類による出願を念頭に記しています。

募集要項入手

- ・オープンキャンパスなどで入手。
- ・県内および近隣の公立大のものは進路指導部に送付されている場合有り。
- ・テレメール・請求はがき（進路資料室にあり）などで請求。

注意・インターネット出願 … 募集要項をダウンロードし、出願方法を担任等と確認。
ネット出願といっても、郵送による書類発送も必要。

出願校決定

- ・推薦・AO入試 … 「推薦入試出願願」を1か月前を目途に担任に提出。
学校長の推薦が必要なものは校内選考会議を行う。
- ・一般入試 … 「一般入学試験受験届」を1か月前を目途に担任に提出。

出願準備

*担任は推薦書を稟議に回す。調査書とともに厳封され開封無効

- ・志望理由書 … 国公立・難関大は、最低でも7月末には完成させる。
- ・入学願書 … コピーを取り、記入練習。後、実物に鉛筆で薄く下書きし、担任等に確認してもらってから清書。
- ・進学用調査書 … 「証明書交付願」を、出願開始の2週間前には担任に提出。
- ・推薦書 … 1か月前には担任に提出し作成を依頼。
- ・受験票用写真 … 学校で撮影した個人写真を使用。万一、使用に支障あれば撮り直し。焼き増しは直接写真館へ依頼。
- ・受験料 … 募集要項の指示通り支払う。
- ・その他 … 「受験票」「返信用封筒」なども募集要項の指示通り記入。

注意・推薦書は「証明書交付願」提出より早いうちに、担任に提出し、作成を依頼。特に国公立大の推薦書は字数が多く、時間がかかる。

出 願

- ・出願用封筒を封入前に再度チェック。消印有効か必着か確認。
- ・出願は本人が郵便局窓口にて行う。簡易書留で依頼し、証書を保管。

注意・大学入試センター試験は学校で一括して送付。

入 試

- ・特別欠席願を担任が教務に提出。遠隔地の場合は学割申請を行う。

報 告

- ・受験レポートを担任に提出。

注意・特に「推薦・AO入試」、本校からの受験者のまれな学校分は詳細に記入。
・問題が持ち帰り可であった場合は、進路指導部まで。

IV. 九月以降の模擬試験

3年生の9月以後の模試・2年生の早期マーク模試は希望制でその都度代金を徴収します。推薦・AO入試を受験する3年生も、一般入試受験までを想定しての準備が必要。

入試は生もの。模擬試験で実力を把握しながら頑張ろう！

1・2年 期日			10/28	1/20	
1年	進研模試		記述	記述	1月末㊦代ゼミスタンダードレベル模試（無料）
	基礎力診断		マーク	マーク	
2年	進研模試		記述	記述	2/11㊦早期マーク模試
	基礎力診断		マーク	マーク	
3年 期日		9/16	10/7	11/4	終了時刻は模試の種類、受験科目によって異なる。
3年	進研模試	㊦駿台 マーク	㊦駿台 記述	㊦駿台 マーク	



V. 催し・予定

確認してください

- 行事●9月5日（火）3年CT試験受験案内（願書）記入説明会 選択A（9/6から変更です）
- 9月8日（金）進路講演会 「ビジネスプラン作成」 3・4限
 - 9月16日（土）3年希望者模試
 - 10月6日（金）進路説明会



VI. 公営塾川森学習会 9月日程

あの男が帰ってくる！

9月の川森学習会の開塾日は以下のとおりです。3年生は特にしっかり指導頂きましょう。

9月9日からは、中学生対象の学習会も始動。本校の国語教師、沖村先生が9月9日から講師としてカムバック。

難波先生とともに、心強い態勢です。

9/3(日)	9/9(土)	9/10(日)	9/16(土)	9/17(日)	9/18(月)	9/23(土)	9/25(月)	9/30(土)
--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

VII. 1・2年生も本格的に考える時期ちゃ！

1学期末に開講希望のアンケートを取りましたが、近日に開講分野をアナウンスします。

特に2年生の進学希望者は、この夏休みにオープンキャンパスに複数参加していますから、来年度の選択科目と合わせて、しっかり自分の志望校・志望分野を考え、情報を収集し続けよう。担任を中心として、先生にしっかり相談することも大切です。自分の見学した学校についてより詳しい情報、もしかしたらその学校より、よりあなたに合った学校についての話が聞けるかも知れ

注意するのは、学部ではなく学科を考えること。例えば、工学部であれば、

・機械工学・情報工学・建築工学・医療工学・生物工学
などさまざまな分野があり、将来の進路もかなり違ったものになります。入試科目も同時に確認しておこう。

センター試験まで
あと135日！

&

就職試験開始まで
あと16日！